



# 営農NEWS



## 促成キュウリ栽培で、べと病、褐斑病、うどんこ病などの発生に注意し、防除を徹底しましょう

今年の冬は平年に比べて気温が高く、日照時間の少ない傾向が続いていますので、施設のキュウリ促成栽培では、施設内の環境制御や肥培管理に苦勞されていることと思います。この時期、施設内が多湿で経過すると、べと病や褐斑病が発生しやすくなり、また、施設内が乾燥気味だと、うどんこ病が発生しやすい傾向があります。これらの病害は、葉裏や枝葉の込み合っている場所から発生しやすく、見逃していると、急激な進展のみられることがあります。

病害虫発生予報1月号（病害虫防除所）によると、べと病の発生は、平年よりやや多いと予測されています。

このため、今後とも適正な整枝、剪定作業や肥培管理を行うとともに、晴天の日をねらって予防散布に努め、更に、病害の早期発見と発生初期の的確な防除を徹底してください。

### ＜防除のポイント＞

- 1 施設内の過湿を防ぐため、日中は換気や除湿機の稼働、暖房機の送風などに努め、適正な温湿度管理を行ってください。
- 2 株間の通風をよくする整枝や剪定、樹勢維持のための適切な灌水や追肥など、適正な栽培管理に努めてください。
- 3 発病は、下葉や葉の込み合っている場所の裏葉などを丁寧に観察して、早期発見に努めます。
- 4 病害の発生を確認したら、早期に薬剤防除を行います。散布は十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが重要で、夕方までには薬液が乾く時間帯に行ってください。なお、既に多発生した場合には、発病葉や茎などをできるだけ除去した後に行い、病患部に薬液が十分散布できるようにします。
- 5 薬剤耐性菌の出現を抑制するため、同一分類（コード）の連続散布は避けてローテーション防除してください。

表1 キュウリべと病の主な防除薬剤（令和2年1月15日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
プロポーズ顆粒水和剤 ※	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内	うどんこ病、褐斑病、黒星病	40とM5
ベンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤 ※※	600~800倍	収穫前日まで / 3回以内	褐斑病、炭疽病、黒星病	M3
カーゼートPZ水和剤 ※※	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内		27とM3
フェスティバルM水和剤 ※※	750~1,000倍	収穫前日まで / 3回以内		40とM3
ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 4回以内		21
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 8回以内	うどんこ病、灰色かび病、褐斑病など	M5

注1) 表1、2、3の分類欄には、FRACコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。同一分類（コード）の連用は避けてください。

注2) 表1、2、3の薬剤名欄※は有効成分TPN、※※はマンゼブを含みます。総使用回数に注意してください。

表2 キュウリ褐斑病の主な防除薬剤（令和2年1月15日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
ベンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤 ※※	600倍	収穫前日まで / 3回以内	べと病、炭疽病、黒星病	M3
ベルクートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 7回以内	うどんこ病、灰色かび病、菌核病など	M7
セイビアーフロアブル20	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	灰色かび病、菌核病	12
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 8回以内	うどんこ病、灰色かび病、べと病など	M5
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	うどんこ病、灰色かび病	9
ゲッター水和剤	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	灰色かび病、菌核病、炭疽病	10と1

表3 キュウリうどんこ病の主な防除薬剤（令和2年1月15日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
モレストン水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	コナジラミ類	M10
ベルクートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 7回以内	灰色かび病、菌核病、褐斑病など	M7
サンヨール	500倍	収穫前日まで / 4回以内	べと病、アブラムシ類、ハダニ類など	M1
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	灰色かび病、褐斑病	9
ハチハチ乳剤	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	べと病、アブラムシ類、コナジラミ類など	39
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 8回以内	べと病、灰色かび病、褐斑病など	M5

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040